

木と歩み 人をつなぐ

Walk with wood, Connect person



木と人・出会い館15周年記念誌



「木の家の住まい」
ナビゲーター
日色ともよ(女)

木の家を建てる。一生に一度。
そこには220の物語がありました。

「木の住まいは森の中にいるようで思わず深呼吸してしまいます。それは「木の調・木の住まい」の取材を通じて実感しています。15年で220棟の木の住まいが生まれて本当に良かった。」



「新しい家で、家族も増えました！」
「100点満点のマイホーム！」
「大好きな木のおうちで、すくすくワクワク」
「理想の家ができました！」
「家の中、気持ちいい！」

Architect Comment

建築士のコメント

「木の家の住まい」は、木の調・木の住まいのコンセプトに基づき、家族の食卓には、木のイースターテーブルを提案しました。円テーブルはコミュニケーションを促すのにもってこいの食卓です。食卓を、お話をしたり、本を読んだり、庭を眺めたり、みんなが自然と集まってくる。そこには必ず家族がいて、団圓がある。そんな場所になってほしいと思います。

吹き抜ける風 家族の声 人々を引き寄せる空間に
「木の家に住みたい」という声は、昔からあるけれど、昔の打合せ時にそんな要望をいただきました。敷地は開口8m奥行き20mの南北に長い敷地です。建物を敷地のほぼ中央に配置して、北に軒垂スペース、南には季節を渡る庭を設けました。庭や飛び石、高木々の配置が絶妙な、涼風の庭に仕上がりました。木々が成長する数年後がさらに楽しみです。建物はプレカットではなく大工の手加工による木組みの家で、1階はLDKと畳の部屋、2階は寝室と子供室、どこに居ても家族の気配が感じられるようにとのご希望で、リビングを吹き抜けにし、階段もリビングに設けました。2階の部屋は吹き抜けを介して開放されて、1階と繋がりが、広がりを感じさせます。また忙しい生活をサポートする為に家事動線や収納も工夫しています。



CASE
04
思い出深い祖母のふるさと
梶原の木に包まれた家



「子どもと過ごす時間を大切にしたい」
同じ3人の子を持つ建築士に依頼
木をふんだんに使った自然素材の家に住みたいという施主は、働きながら3人の子育てに奮闘。何より自分が安らげて、夕食の仕度、学校や保育園でのできごと、宿題、遊びなど子どもとコミュニケーションをかわしながら団圓の時を過ごす、家族のつながりが強くなるような家を考えていました。自分の思いに共感してくれる建築士は？
夫婦で設計事務所を運営し、3人の子育てを終えた建築士に会い、設計した家を見て、心を決めました。

建築 DATA
設計監理/エニシ建築設計事務所
施工/小松工務店
種別/新築
構造/木造2階建(在来軸組工法)
敷地面積/165㎡
延床面積/111㎡
竣工/2015年5月
所在地/高知市
家族構成/母親+子ども63人



「お施主さんの感想」
思い出の地 梶原の木に抱かれて
過ごすおだやかな日々
祖母が住み、小さい頃から通った梶原は、私の不思議なパワースポットでした。その思い出深い梶原の木で建てた家がありました。木の色に感銘しました。開放感のある家族の気配が伝わる家になりました。3人の子も連日大喜び。遊びに来る友達が増えませんが、この家であれば、子どもは決してくれないと確信しています。
もうひとつ、設計事務所から嬉しいプレゼントがありました。それは、友人でもある庭師さんに引き合わせてくれたことです。小さな空間ですが、つくばいのある坪庭ができました。気に入っています。木の家から続く穏やかな空気に、日々癒されています。

野嶋さんファミリー